

農山漁村地域整備計画における事後評価

- 1 整備計画名：京都府安心・安全の森づくり整備計画
- 2 整備計画年度：令和4年度～令和6年度(3年間)
- 3 事後評価年度：令和8年度

事後評価項目	評価の内容
① 交付対象事業の進捗状況	林道改良事業 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を次期計画で実施予定。
	林道点検診断・保全整備事業 令和6年度に完了しました。
	機能回復整備事業 令和6年度に完了しました。
	予防治山事業 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を次期計画で実施予定。
	機能強化・老朽化対策事業 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を次期計画で実施予定。
	林地荒廃防止事業 計画期間内の事業は予定どおり実施、残事業を次期計画で実施予定。
② 事業効果の発現状況	林道改良事業 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。
	林道点検診断・保全整備事業 令和6年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	機能回復整備事業 令和6年度の事業完了により事業効果が発現しました。
	予防治山事業 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。
	治山施設機能強化事業(老朽化対策) 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。
	林地荒廃防止事業 計画期間内の事業量実施により事業効果が一部発現しました。

③ 成果目標の目標値の実現状況	・ 林道改良により機能向上が図られた路線延長 【目標値】 11m 【実現状況】 0m（橋梁のうち、橋台の完成） 令和7年度以降、次期計画に引き継ぎ、目標の達成に努めます。 ・ 林道橋梁等の点検診断及び保全整備実施率100% 【目標値】 100% = 実施数50基 / 実施予定数 50基 【実現状況】 102% = 実施数51基 / 実施予定数 50基 事業完了により、目標を達成しました。 ・ 花粉発生源林の植え替え面積 【目標値】 6.33ha/計画期間前3力年→ 17.6ha/計画期間前3力年 【実現状況】 6.33ha/計画期間前3力年→ 23.02ha/計画期間前3力年 事業完了により、目標を達成しました。 ・ 安心・安全な地域づくりの推進 山地災害防止機能が高まった集落数の増加（3力年） 【目標値】 512集落（R4. 3時点）→542集落 【実現状況】 512集落（R4. 3時点）→522集落 令和7年度以降、次期計画に引き継ぎ、目標の達成に努めます。
④ 今後の方針	整備計画年度を令和7年度～令和9年度（3年間）とする新たな計画を樹立し、引き続き林道整備により林業の生産基盤の強化を図るとともに、間伐等の森林整備を進め、治山事業により森林の土砂流出防止機能や水源かん養機能の向上を図り、安心安全の森づくりを目指します。